

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第20週（令和7年5月12日～令和7年5月18日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・ 伝染性紅斑の定点当たりの報告数が、従前の警報レベルの基準値（定点当たりの報告数2.00）を超えました。本疾患は小児を中心にみられる発しん性の疾患で、微熱や風邪様症状の後、両頬がリンゴのように赤くなる発しんが出現します。赤い発しんが出現する時期にはほとんど感染力がありませんが、発しんが出る前の感染力が強く、特に妊婦では、感染により胎児に影響が出る場合があります。風邪様の症状がある場合は、手洗いや適切なマスク着用等の感染対策を心がけ、本疾患を疑う症状やご不安がある場合には、医療機関に相談しましょう。
- ・ 福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	13	262	153	4,635
腸管出血性大腸菌感染症	5	42	22	471
腸チフス	1	2	2	9
日本紅斑熱	1	1	17	53
レジオネラ症	1	15	29	588
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	10	7	295
侵襲性肺炎球菌感染症	8	70	69	1,762
水痘（入院例）	1	9	11	210
梅毒	19	298	124	4,755
百日咳	106	1,012	1,792	16,475

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル（※）

：注意報レベル（※）

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	85	0.70	0.89	3,604	0.94
インフルエンザ	164	1.34	1.38	2,580	0.67
急性呼吸器感染症	6,297	51.61	1.21	182,709	47.63
RSウイルス感染症	28	0.40	2.15	710	0.30
咽頭結膜熱	68	0.97	2.19	934	0.40
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	322	4.60	1.57	4,667	1.98
感染性胃腸炎	694	9.91	1.12	13,636	5.78
水痘	40	0.57	1.11	1,190	0.50
手足口病	8	0.11	2.67	189	0.08
伝染性紅斑（警報レベル）	191	2.73	2.22	2,680	1.14
突発性発しん	45	0.64	1.29	706	0.30
ヘルパンギーナ	8	0.11	8.00	62	0.03
流行性耳下腺炎	9	0.13	1.80	140	0.06
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	27	0.04
流行性角結膜炎	10	0.38	2.00	523	0.75
細菌性髄膜炎	1	0.07	－	8	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	－	9	0.02
マイコプラズマ肺炎	2	0.13	－	158	0.33
クラミジア肺炎	0	0.00	－	2	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	8	0.53	0.57	106	0.22

（※）令和7年第15週からの定点医療機関の減少等に伴い、従前の警報及び注意報の基準値を直ちに当てはめることはできません。そのため、国が警報及び注意報の取扱いを検討することとしています。取扱いが示されるまでの間、本県では従前の基準値で運用することとします。